

●平成7年度秋季研究発表会

1. 研究発表会

期 日：平成7年10月16日(月)～17日(火)

会 場：埼玉県県民活動総合センター(地図9月号参照)

受 付：ご出席の方は、当日、大会受付で参加費(正・賛助会員 6,000円、学生会員 2,000円、非会員 10,000円)を添えて、ご登録ください。

実行委員長：刀根 薫(埼玉大学)

実行副委員長：大山達雄(埼玉大学)

特別テーマ：「ORの実施」

ORを成功させるためには、モデル、アルゴリズム、実施の3つの要素が整合した形で機能する必要があります。しかし、「実施」の姿はなかなか表に出にくいのが実状です。今回の研究発表会ではこの点にスポットライトを当てて、特別セッションの中に、各方面から幅広く実施例を集めました。会員の皆さんにおかれましては、ORを一層発展させるために、これらの発表に積極的に参加されるよう望みます。

特別講演：一般公開・入場無料

(1)「マルチメディアとこれからの経営」

NEC(株) 特別顧問 水野幸男氏

(2)「日本の独創性」

理化学研究所 理事長 有馬朗人氏

なお、特別講演は一般公開し、入場無料ですので、みなさまお誘い合わせの上ご参加ください。

招待講演：文献賞、Lanchester賞(米国)を受賞された方々から、1件あたり質疑応答も含めて60分程度で、計3件のお話をうかがいます。

特別セッション：次の5分野のテーマについて、個別に特別セッションを設けました。各セッションは60分程度です。

(a)ORの実施 (b)公共システムとOR (c)電力のOR (d)金融のOR (e)生産システムのOR

2. 懇親会

日 時：10月16日(月) 18:00～20:00

場 所：埼玉県県民活動総合センター内

レストラン「ジャポニカ」

Tel.048(728)9333 Fax.048(728)7522

参加申込：当日、参加費6,000円を添えて受付にお申し出ください。

3. 問合せ先

実行委員会：〒338 浦和市下大久保255

埼玉大学大学院政策科学研究科 大山達雄

Tel.048(858)3094 Fax.048(852)0499

E-mail: oyamat@poli-sci. saitama-u. ac. jp

日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局：

〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル内

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

●第34回シンポジウム

「経営効率性評価－DEA法のフロンティアと応用事例－」

経営効率性の評価というテーマはあらゆる事業体にとってますます重要な課題となっております。そのための手法としてDEA(Data Envelopment Analysis)への関心が急速に高まってきました。先般、FORTUNE誌が「経営者のための経済学」というページで、新手法としてDEAを紹介したこともあって、この手法への実務家の関心も高まっています。本学会では、研究部会「評価のOR」(主査：刀根 薫、幹事：上田 徹)をもうけて、この方面の研究を進めて参りましたが、本年秋の学会シンポジウムを「経営効率性評価－DEA法のフロンティアと応用事例－」というタイトルの下に開催する運びとなりました。つきましてはこの分野に興味を持っておられる研究者や学生の方々、実際問題への応用を考えておられる方々のご参加を歓迎いたします。

日 時：10月15日(日) 10:00～17:30

場 所：埼玉県県民活動総合センター(JR大宮駅からニューシャトルで羽貫駅まで約23分)

地図等につきましては、9月号研究発表会のページをご覧ください。

実行委員長：上田 徹(成蹊大学)

プログラム：

〔午前の部〕 司会 山田善靖(東京理科大学)

10:00～10:40「DEAのモデルをめぐって－再論－」

刀根 薫(埼玉大学)

10:40～11:15「DEAにおけるスラックを考慮した効率性の評価法」

枇々木規雄(慶応義塾大学)

11:15～11:50「包絡分析と回帰分析を含む性能評価法DEARA」

篠原正明(NTT通信網研究所)

11:50~12:25「DEA/DR法を用いた事業体の判別予測」

杉山 学, 末吉俊幸, 山田善靖 (東京理科大学)
〔午後の部〕 司会 住田友文 (電気通信大学)

13:30~14:20「DEAに基づく限界費用価格形成: NTT電話基本料金に関する一考察」

末吉俊幸 (東京理科大学)

14:20~14:55「通信事業におけるDEA法の適用事例」

矢田 健, 中山竜起, 井上正之 (NTT通信網研究所)

14:55~15:30「対数型DEAモデルを用いたウェイト付けの方法」

平瀬啓太 (ソニー), 山口俊和 (東京理科大学)

15:45~16:20「第三セクター鉄道の効率性に関する研究」

坂元純一 (鹿児島県庁)

16:20~16:55「農協経営評価のためのDEA適用に関する一試論」

長谷部正, 木谷 忍, 伊藤房雄 (東北大学)

16:55~17:30「資本市場の効率性とDEA分析」

清水康司, 高森 寛 (青山学院大学)

協賛: 経営情報学会, 日本経営工学会, 日本品質管理学会

参加費: 正・賛助会員 3,000円, 学生会員 1,000円,

非会員 5,000円 (協賛学会員は正会員に同じ)

当日受付にてお支払いください。

問合せ先: 〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学 工学部 経営工学科 上田 徹

Tel.0422(37)3793 Fax.0422(37)3869

E-mail: ueda@is.seikei.ac.jp

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成8年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛ご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(7年の1月1日

より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。

3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)等、企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、斎藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田 浩、刀根薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限り、なお、ソフトウェア部門は11月末日締切です。

〔学生論文賞〕学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部卒論論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成8年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

●日本オペレーションズ・リサーチ学会 事例研究奨励賞(ソフトウェア部門) 第11回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行なった実績も参考として決定したものであります。

〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会 事例研究奨励賞（ソフトウェア部門）
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。
 - (1)教育用ソフトウェア
大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア
 - (2)OR技術の先端的ソフトウェア
3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）
4. 応募手続：(1)提出書類
 - ①正会員による推薦状 1部
推薦状は学会所定の用紙とします。
 - ②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部。
機能説明書は学会所定の用紙とします。
 - ③その他参考資料
Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。
- (2)提出先：日本OR学会表彰委員会
- (3)応募締切：平成7年11月30日(木) 必着
5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰する。
6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。
- (2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行なうこととします。

●研究部会・グループ開催案内

・意志決定とOR

日時：10月6日(金) 14:00~17:00

10月7日(土) 9:30~12:00

場所：芦原温泉 あわらグランドホテル

(福井県芦原温泉4-2 Tel.0776(78)5500)

テーマと講師：(1)「A-距離を用いた有効集合について」
金 正道 (金沢大学大学院自然科学研究科)

(2)「ゲーム理論と進化論について」

阪井 節子 (福井大学教育学部)

(3)「多値論理関数によるデータ表現について」

高木 昇 (富山県立大学工学部)

(4)「題目未定」

齊藤吉宏 (金沢大学自然科学研究科, 和光証券)

(5)「集合値写像を持つ多目的計画問題について」

前田 隆 (金沢大学経済学部)

問合せ先：福井大学教育学部技術科 阪井節子

Tel.0776(23)0500 内2504 Fax.0776(27)8911

E-mail: setuko@edu100, f-edu. fukui-u. ac. jp

・待ち行列

日時：10月14日(土) 14:00~16:30

場所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：(1)「Some Results in the Theory of Priority Systems with Orientation」

George Konstantin Mishkoy (モルドバ共和国科学アカデミー数学研究所応用数学科長)

Priority queuing systems of type Mr/Gr/1 with different service disciplines, including DD one, are considered. Analytical expressions for the main characteristics of such systems are presented. Most of them are obtained in the form of recurrent functional equations, Laplace-Stieltjes transforms and generating functions.

(2)未定

問合せ先：NEC C&C 研究所 小林和朝

Tel.044(856)2316 Fax.044(856)2235

E-mail: koba@sbl. cl.nec. co. jp

・COMのための生産計画・スケジューリング

日時：10月19日(木) 18:30~20:30

場所：青山学院大学総研ビル7階 第13会議室

テーマと講師：「個別受注生産システムの最適2レベル設計について」

松井正之, 宮 毅 (電気通信大学)

問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター

西岡靖之

Tel.03(3481)4486 Fax.03(3481)4585

E-mail : nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

5月17日(金) 見学会

●平成8年度研究部会新設・継続申請受付

新しい部会活動のご提案を学会事務局までお寄せください。また、現在活動中の部会のうちで、来年度も継続して活動することを希望される部会の主査の方は継続の申請をしてください。締切は12月1日(金)です。部会のメンバーの公募につきましては、研究普及委員会がお手伝いいたします。

詳細につきましては次号(11月号)をご参照ください。

●会合案内

・第152回新宿OR研究会

日時：10月24日(火) 12:00~13:30

場所：レストラン・レダ(新宿センタービル53F)

テーマ：「基本的生命過程と基本的生命物質について」

講師：増山元三郎(元東京理科大学教授・元OR学会副会長)

参加費：3,000円

・第30回丸の内OR研究会

日時：10月24日(火) 18:30~21:00

場所：学士会館(神田錦町3-28)

テーマ：「情報通信ネットワーク危機管理対策」

講師：石川 宏(NTT理事)

参加費：丸の内OR研究会会員(無料)

非会員(3,000円)当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生

Tel.03(3457)6745

●平成8年度春季研究発表会

日程：平成8年5月15日(水)~16日(木) 研究発表会

場所：小樽商科大学(小樽市緑3-5-21)

特別テーマ：「インフラとしてのOR」

実行委員長：若林信夫(小樽商科大学)

第4回 APORS 国際会議のお知らせ

(The Fourth Conference of the Association of Asian-Pacific Operations Research Societies within IFORS)

期日：1997年11月30日~12月3日

開催地：オーストラリア ビクトリア州メルボルン市

主催：オーストラリアOR学会(ASOR)メルボルン支部

●日本工学会「公開講演会」

日時：12月1日(金) 13:00~15:30

場所：秋田大学一般教育2号館

(秋田市手形学園町 Tel.0188(33)5261)

主催：日本工学会

共催：秋田大学鉱山学部・秋田高等工業専門学校・秋田県(予定) 日本工学会加盟90学協会

講演：

1. わが国の産業構造変化に産・学・官はいかに対処すべきか
日本学術会議第5部長、帝人(株)顧問、日本工学会理事 内田盛也
2. 大学改革、そして地域振興と工学
東北大学工学部教授 阿部博之
3. 秋田県の理工学研究と教育の展望(仮題)
秋田県副知事 池田竹二郎

IFORS 96のご案内

3年ごとに開かれるIFORSの第14回大会は、1996年7月8~12日にカナダのバンクーバー市で開催されます。今回のテーマは「意思決定の理論と実践を結ぶOR」です。この大会で論文を発表される方は、以下の要領でご応募ください。なお、大会の案内状が学会事務局にありますので、必要な方はご請求ください。

提出期限：1995年10月31日

提出書類：標題、著者名、連絡先、アブストラクト(英・仏語で50語以内)、100カナダドル(IFORS 96あての小切手または郵便為替)

提出先：Conference Secretariat, IFORS 96, Venue West Conference Services Ltd., 645-375 Water St., Vancouver, British Columbia, CANADA V6B 5C6

聴講料：無料

参加申込：往復ハガキに氏名・勤務先・同住所・同電話番号（または自宅住所・同電話番号）、所属学協会を明記の上、下記にお申込みください。

申込先：〒107 港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
(株)日本工学会「公開講演会」係

申込期限：11月20日(月)

●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・INTERMAC'95 SICE シンポジウム IN 晴海 (協賛)

主催：計測自動制御学会

日時：10月31日(火)～11月2日(木)

場所：東京国際見本市会場 (貿易センタービル2階)

申込・問合せ先：〒113 文京区本郷1-35-28-303

(社)計測自動制御学会

Tel.03(3814)4121 Fax.03(3814)4699

・シンポジウム「企業間ネットワークと競争優位性— ECR と CALS を探る—」(協賛)

主催：経営情報学会

日時：10月11日(水) 13:00～17:00

場所：東京工業大学百年記念館 (目黒区大岡山)

問合せ先：〒105 港区新橋1-18-16 日生ビル7F

(財)統計研究会内 経営情報学会

Tel.03(3591)8496 Fax.03(3595)2220

●国際会議案内

・第4回ソフトコンピューティングに関する国際会議 (協賛)

主催：国際ファジィシステム学会

日時：1996年9月30日～10月5日

場所：福岡県飯塚市

アブストラクト締切：1996年1月31日

問合せ先：〒820 福岡県飯塚市大字川津680-41

財団法人ファジィシステム研究所内

国際会議事務局

Tel.0948(24)2771 Fax.0948(24)3002

・IEEE INFOCOM'97 (協賛)

主催：IEEE Computer Society,

IEEE Communications Society

日時：1997年4月7日～11日

場所：神戸国際会議場 (神戸市)

論文締切：1996年6月14日

問合せ先：〒560 豊中市待兼山町1-3

大阪大学基礎工学部情報工学科 村田正幸

Tel.06(850)6586 Fax.06(850)6589

E-mail: murata@ics.es.osaka-u.ac.jp

WWW: http://arpeggio.ics.es.osaka-u.ac.jp/infocom.html

●公募案内

・財団法人電気通信普及財団 平成7年度研究助成分

分野：電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究、電気通信技術の振興・普及に関する研究調査

対象：個人、共同研究組織、法人

応募期間：11月1日～30日

問合せ先：(財)電気通信普及財団

(〒105 港区西新橋1-6-11 Tel.03(3580)3411)

・武蔵工業大学工学部経営工学科

募集人員：講師1名

専門分野：コンピュータ (情報科学、計算機アーキテクチャ)

担当業務：主としてコンピュータ教育

応募資格：年齢35歳位までで博士の学位を有する方

採用予定：1996年4月1日

応募締切：11月30日

提出書類：履歴書、最終学歴の修了証明書、研究業績目録、主要論文別刷 他

送付・問合せ先：〒158 世田谷区玉提1-28-1

武蔵工業大学工学部経営工学科主任教授 富田久雄

Tel.03(3703)3111 内3315

・琉球大学工学部情報工学科

募集人員：教授3名、助教授1名

担当講座：教授：システム情報工学講座 (計算機システム、情報通信、ソフトウェア)、知能情報工学講座 (知能情報処理、人工知能、知的制御)

助教授：システム情報工学講座 (ソフトウェア)

応募資格：博士の学位を有し、大学院博士課程を担当できる方

採用予定：1996年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切：1995年10月16日以降1996年3月28日まで (ただし、適任者があり次第、随時採用決定する)

提出書類：履歴書、業績一覧、研究歴、論文等の別刷他

問合せ先：〒903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学工学部情報工学科 宮城隼夫

Tel.098(895)2221 内3263, 3251 Fax.098(895)2688

E-mail: miyagi@ie.u-ryukyuu.ac.jp